

道徳だより NO.4

台東区立金曾木小学校
校長 細田 儀広
令和5年11月1日

本校では、令和3年度より「特別の教科 道徳」の指導について研究を行い、3年目となります。今年度も児童の道徳心を養うため、充実した道徳科の授業を目指しています。今年度より、研究授業の内容や併せて行った各学年の授業の概要について「道徳だより」を発行します。ご家庭でも、子供たちとの話題の一つにさせていただきたいと思います。

【内容】 C よりよい学校生活、集団生活の充実

先生や学校の人々を尊敬し、感謝の気持ちをもって、学級や学校の生活をよりよいものにしようとすることや、様々な集団の中での活動を通して、自分の役割を自覚して集団生活の充実に努めることに関する内容です。

1年

主題名 たのしい がっこう
教材名 がっこう だいすき
入学してすぐの教材ですが、生活科の学習や、120周年の取り組みも合わせてもう一度金曾木小のよいところ、好きなどころについて話し合いました。図書室では、本がたくさん読めて楽しい、校庭や体育館では、友達とたくさん遊べるから好きなど、たくさんの意見交流ができました。

2年

主題名 学校を楽しく
教材名 わたしの学校、いい学校
学校を愛する主人公の気持ちに共感することを通して、自分の学校のよさを見つめ直し、みんなでより楽しい学校生活にしていこうとする心情を育てることをめあてとしました。金曾木小学校をどんな学校にしたいか、みんなで意見を出し合い、話し合いをしました。

4年

主題名 みんなで協力して
教材名 先生にサプライズ
先生不在の中で、協力し合いがんばるクラスの子供たちの様子を通して、自分からすすんで学級の間人関係をよくしようとする在り方について考えました。自分たちの実体験にも近い部分がある教材だったため、よりよい学級をつくるためにはどうしたらよいか、具体的に考えることができました。今までの自分の行動を見つめ、これからの生活に生かそうとしていました。

5年

主題名 校風を受けつぐ

教材名 今度はわたしたちの番

高学年となり、委員会活動や行事での係活動など、学校全体に意識を広げていくようになる5年生。自分の役割を自覚し、責任を果たそうとする態度を養うというねらいで、4月のはじめにこの授業を行いました。美化委員の「わたし」の気持ちの変化を追うことを通して「自分たちの学校によさを受け継ぐために、自分が果たすべき役割」について考えました。金曾木スタンダード5つの「あ」を守る、自らあいさつをする、なかよし班でお手本になるような行動をする、校舎をきれいに使うなど、具体的に考えることができました。

6年

主題名 郷土のために

教材名 米百票

登場人物の言動の理由や気持ちを考えることによって、受け継がれている歴史や文化を尊重する大切さを学びました。授業後半では、120周年を迎える学校で受け継がれてきているものを考えました。創立50周年でようやく校歌ができたこと、校舎に這っている蔦は戦争中は取り外して避難させたことなどを知り、学校への愛着心を養うことができました。

<10月25日に行われた研究授業>

3年

主題名 学校大すき

教材名 お父さんとぼくの学校

校歌の歌詞に込められた意味について知ったさとしの気持ちの変化を考えることを通して、先生や学校の人々を敬愛し、みんなで協力し合って楽しい学級や学校をつくろうとすることの大切さについて考えました。教材や120周年を迎えた本校の校歌や歴史を学ぶことを通し、自分たちの学校の好きなところや込められた願いに改めて目を向け、より良いクラスや学校をつくるために、何ができるかという考えを深めることができました。



授業を通して、児童が考えた「よりよい学校」

- ・みんなが優しい学校
- ・みんなが楽しく元気な学校
- ・健康で安全に過ごせる学校
- ・学校を大切にすることができる学校
- ・歴史をつないでいくことができる学校